

式 辞

まだ夏の厳しい暑さが残る中、本日は、

国東市長 三河明史 様、

国東市議会議長 大谷和義 様、

国東市教育委員会教育長 加藤正和 様のご臨席を賜り、国東市立志成学園の開校記念式典を挙げてきます事、心より御礼申し上げます。

しかしながら、新型コロナウイルスの拡散防止対策のため、創設にかかわっていただきました各委員の皆様、建設に携わっていただきました工事関係者の皆様、地域、保護者の皆様等、これまで志成学園開校に向けご尽力いただきました多くの方々と、開校をお祝いすることができず、とても残念に感じています。特に、工事関係者の皆様には、新型コロナウイルスの感染があれば二週間の工事中断を言われていましたので、不安でありましたが、いわゆる自粛をしていただき、そのようなこともなく計画通りの完成を見ましたこと本当に感謝申し上げます。

お蔭をもちまして、旧武蔵中学校の校舎の周りは、昨年七月からの工事で一変しました。あいさつ坂の入り口には、駐輪場・バスターミナルができ、校舎の西側に新グラウンド、東側には、一年生から利用できる新プール、そして南側には管理棟やメディアルーム・教室・小体育館ができました。この間多くの打ち合わせを要しましたが、たくさんの要望も聞いていただき、素晴らしい施設を建設していただきました。児童・生徒はもとより教職員が、有効的に活用し児童生徒の成長に役立てたいと考えています。本当にありがとうございます。

さて、新しい九年制の義務教育学校として誕生しました志成学園に寄せる思いは、施設だけではありません。校名の「志成」や校章、校歌の中にも盛り込められていきます。総じて言えば、「何事かを成し遂げるために強い思いを持ち、しっかりと努力して大きく羽ばたこう」と言うことであるうと考えています。特に校歌の中にある「愛する郷土担いゆく」「立志の気概育てゆく」「飛躍の扉開きゆく」は、私たちの進むべき道を示していただいています。教職員一同全力でこの思いにこたえるべく教育の推進に取り組んでまいりたいと考えています。

児童生徒の皆さんにお話をします。あなた方が志成学園スタートの子どもたちです。この素晴らしい環境のもと、しっかりと学び、大きく羽ばたいてもらうためにお話を話します。

今年元にある小学六年生の作文は誰の作文かわかりますか……。そうです。昨年引退した「イチロー選手、鈴木一郎さん」のものです。

この作文を読むと多くのことを学ばせてくれますが、通常の子どもたちが書く夢の作文と決定的に違うことがあります。わかりますか……。それは、一行目にある「一流の」です。「僕の夢は、プロ野球選手になることです。」という作文は多く見たことがあります。この「一流の」の三文字が入っている作文は見ることがありません。イチロー選手は、子どもの頃からプロ野球選手になるので

はなく、その中でもごく一部のトッププレーヤーになることをはじめから目指していたのです。そして、それを実現したのです。つまり、志、夢を高く持つことが大切であることを教えてくれています。

そしてイチロー選手は、大リーガーとなりシーズン262安打の世界記録を打ち立てた時には、「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くた一つの道である。」とも言っています。つまり、物事を成し遂げるには努力の積み重ねしかないのだとも教えてくれています。多くの成功した研究者、事業者、アスリート等先人たちも同様な名言を残しています。

さらに、ヒットを打った三割からではなく、アウトになった七割から新たな学びを受けとったとも話しています。失敗にへこたれず、それを乗り越えるための挑戦する強さや研究心が必要であるということも教えてくれています。

あなた方は、まだまだ成長途中です。どうぞ、この志成学園で大きな夢や志を抱き、それを実現すべく一歩一歩努力を重ね前進し、自分の花を咲かせてもらいたいと考えています。素晴らしい先生方が、そばにいます。「九年制を生かした教育の推進」「キャリア教育の充実」「英語教育の充実」「地域と連携した教育の充実」を重点として教育を進めて参ります。安心して自分を表現し、来るべくグローバル社会へと旅立っていく、その基礎を、ここ志成学園で身に着けることをお願いいたします。

特に、後期の九年生・八年生は、この学校のリーダーです。授業中、生活の中、各種行事の中等あらゆる場で全校のお手本となり、その姿で引っ張っていてもらいたいと思います。昨年度から工事で校舎が取り囲まれて活動の場を狭められたり、駐輪場工事のため、夏の暑い日、自転車を押してあいさつ坂を登ったり、工事の騒音が毎日あるといった通常ではない生活を乗り越えたあなたたちです。そして、今は、新型コロナウイルス拡散の影響で活動を狭められている中、一日一日を誠実に落ち着いて学習に、そして各種取組に向き合ってくれているあなたたちです。きっとやり遂げられると大いに期待しています。

また、これまでもそうであったように、子どもたちの成長には、家庭での保護者の支えや地域の方々のお力添えが不可欠です。これまで同様の愛情を子どもたちに、この学校に寄せていただき、皆にとって愛着のある学校へと共に育てていただきたいと願っています。

終わりになりますが、これまで長きにわたり多大なるご支援、ご指導を賜りました国東市当局・教育委員会、地域の皆様、保護者の皆様をはじめ、開校に向けてご尽力いただきました全ての皆様に重ねて御礼申し上げますとともに、これまで同様、力強いご支援をいただきますことを心よりお願い申し上げます、式辞といたします。

令和二年八月二十八日

国東市立志成学園 校長 畑野 章